



小学校・中学校

通常学級

集団生活の中で、特別な支援が必要なお子さんに対する配慮や工夫をしています。学校生活について、校内の特別支援教育コーディネーターに相談をしたり、校内委員会で支援の方法を検討することもできます。

通級指導教室（通級）

通常学級に通いながら、決まった時間（月・週に数時間）だけ別の教室で学習をします。通級指導教室では、お子さんの学習面や生活面の課題に合わせて、個別の指導を受けることができます。課題によっては、小グループで活動することもあります。

言語障害、自閉症、情緒障害、弱視、難聴、学習障害、注意欠陥多動性障害、肢体不自由、病弱および身体虚弱のお子さんが対象です。

在籍する学校に通級指導教室がない場合は、他校の通級指導教室を利用したり、巡回による指導を受けることもあります。



特別支援学級

少人数（1学級8人以下）の学級です。お子さんの学習面や生活面の課題に合わせた教育を行っています。

知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害の7種類の学級があります。学校によって設置されている学級の種類や数は違います。

居住地域の学校に特別支援学級が設置されていない場合は、隣接地域の小学校（特別支援級）に通学することもあります。

また、教科や活動によっては、通常学級で授業を受けることもあります。



特別支援学校

視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、知的障害のあるお子さんのための学校です。知的障害のある自閉スペクトラム症のお子さんは、知的障害の特別支援学校が対象となります。

1学級の人数は少なく、小・中学部は1学級6人以下、重複障害の場合は1学級3人以下です。お子さんの障害の状態に応じて、きめ細やかな指導が行われています。個別の指導や小グループでの活動が学習の中心となります。

